

2011年ABAC第1回広州会議プレスリリース【仮訳】

米国議長年にAPECビジネス諮問委員会は貿易を拡大し、
経済成長を支え、雇用を創出することをめざす

アジア太平洋地域のビジネス界の代表者は
「より早く、簡単で、安価な貿易」の進展を求める

[中国 広州市] 2011年2月18日－

今週サンチアゴでアジア太平洋自由貿易圏に向けて取り得る道筋の交渉が実行される中、本日広州市では地域のビジネス界のリーダーと幅広い業種の企業の経営者がAPECに対し域内の貿易・投資をより容易かつ効率化するよう求めた。

ABAC議長でプロクター&ギャンブル社アジアグループプレジデントのデボラ・ヘンレッタ氏は、「APEC参加21カ国・地域は共に、成長の早い、ダイナミックで多様性に富んだ地域を代表している。我々は、数十億の消費者にサービスや商品を提供する全ての産業のあらゆる規模のビジネスを代表している」と述べ、更に「今年我々が注力すべき仕事は、アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)に向けて取り得る道筋のための具体的な構成要素の構築である。FTAAPはアジア太平洋地域の経済成長と繁栄を促す」と語った。

ABACは、今年米国が議長を務めるAPECの諸会議との連携により、この市場の成長と貿易の円滑化を支援している。ABACは、2月14日から17日の間、中国の広州市で開催された第1回会合で、「21世紀の繁栄を21の国や地域に」というテーマの下に2011年の活動を開始した。

同会合では、地域経済統合の促進、中小企業の繁栄を可能にする環境の創造、食料やエネルギーの安全保障の向上による持続可能な成長の助成など今年の5つの優先事項を特定した。

食料の安全保障については、ABAC委員は、最近の主要食料の価格高騰につながっている域内の食料サプライチェーン内で発生する約40%に上る損失を低減する手段を検討することに合意した。ABAC委員は金融部門が金融市場とキャパシティ・ビルディングの効果と効率を向上させることでこの地域の成長を助けられるよう一層努力していくことにも合意した。

ABAC委員は域内の均衡のとれた、革新的で、あまねくひろがる、持続可能かつ安全な成長により実現する「21世紀型の繁栄」に向けて大きく前進するとともに、年末までに目に見える具体的な成果を得ることを約束した。ABAC委員は、APEC参加21カ国・地域による相互の繁栄への関与が大きければ大きいほど、貿易円滑化促進の鍵となる政策を首脳が構築する動機付けは大きくなると信じている。